

高等教育の国際化と 大学図書館

— アジアを拠点としたトップブランドへ —

2018年 12月14日 (金) 13:00-17:15

【会場】 九州大学 伊都キャンパス 中央図書館 4Fきゅうと commons

高等教育の国際化が急速に進む中、アジアの大学図書館はどのような役割を果たしていけるでしょうか。

本シンポジウムでは、10月1日に国際化の拠点となる中央図書館を全面開館した九州大学の事例を紹介します。あわせて、タイおよび台湾から2名の有識者をお招きし、同国の状況についてご講演いただき、国際化の面で大学図書館の果たす役割等について現在の課題や今後の展望を議論します。

なお、本シンポジウムは英語で行われますが、日本語通訳があります。

プログラム

・シンポジウム (要申込・参加無料)

- 13:00- 開会挨拶／趣旨説明
- 13:15- 講演 Kulhida Tuamsuk 准教授 (タイ王国 コーンケン大学)
- 14:20- 講演 Hao-Ren Ke 教授 (台湾師範大学)
- 15:25- 講演 宮本一夫 教授 (九州大学副学長／附属図書館長)
- 16:10- パネルディスカッション
モデレーター：石田栄美准教授 (九州大学)
- 17:10- 閉会挨拶

・オプションイベント

- 11:30-12:00 九州大学中央図書館ツアー
- 17:45-19:15 情報交換会

申込方法



ウェブフォームからお申し込みください。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/>

九州大学附属図書館ウェブサイト > イベント > 国際シンポジウム

ゲストスピーカー

Dr. Kulhida Tuamsuk



タイ王国 コーンケン大学人文社会科学部准教授。2011年までコーンケン大学の学術・国際担当副理事を務める。2013年からはコーンケン大学人文社会科学部に就任。

Dr. Hao-Ren Ke



台湾師範大学情報学研究所教授。台湾師範大学図書館のライブラリアンとしての肩書も持ち、また、図書館台湾図書館協会の会長も務める。

【主催】九州大学附属図書館 【共催】九州大学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻 【後援】九州地区大学図書館協議会
本シンポジウムはALIRG2018 (10th Asia Library and Information Research Group Workshop)のプレイベントとして開催されます。

【問い合わせ】九州大学附属図書館 国際シンポジウム事務局
092-802-2482 symposium-secretary@lib.kyushu-u.ac.jp